

第43回 北海道高等学校新人剣道大会 開催要項
(兼 第33回全国高等学校剣道選抜大会北海道予選会)

- 1 主 催 一般財団法人 北海道剣道連盟、北海道高等学校体育連盟
- 2 主 管 北海道高等学校体育連盟剣道専門部
- 3 後 援 北海道教育委員会、公益財団法人北海道体育協会
- 4 日 時 令和 6 年 1 月 12 日(金) ～ 13 日(土) 午前 9時30分 開会
- 5 会 場 「千歳市開基記念総合武道館」
千歳市あざさ1丁目3番1号 電話 0123-22-2100
- 6 参加資格 (1) 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒で、年齢は4月2日起算とし、19歳未満の者とする。
(2) 令和5年度に第1・2学年在籍者とし、同学年で出場は1回限りとする。
(3) 転校生の場合、転校6ヶ月未満の者は出場できない。ただし、「一家転住」の場合はこの限りではない。
(4) 大会出場校数・個人出場者は、剣道人口調査による。
剣道人口調査を参考に男女とも道高体連剣道専門部の決定により次の基準とする。
さらに令和5年度北海道高等学校剣道選手権大会の男女団体優勝・準優勝校(その該当支部)に出場権を与える。
(5) 「高体連主催大会参加者保障制度」に加入した者、又加入の意思のある者。
(6) チーム編成は、男女1部はそれぞれ監督1名、選手5名、補員2名、主務1名の9名とする。
男女2部は監督1名、選手3名、補員2名、主務1名の7名とし、各支部での合同チームも可とする。
ただし、参加については各支部剣道専門委員の推薦を受けたチームとする。
※主務の参加資格は選手と同じとする。
(7) 全日制・定時制・通信制の混成は認めない。

		道南ブロック				道北ブロック			道東ブロック			合計
		道央ブロック 札幌	函館	室蘭	小樽	空知	旭川	名寄	オホーツク	十勝	釧根	
団体	男1部	16	5			5			6			32
	女1部	12	4			3			5			24
	男2部	8	1	1	1	1	1	1	1	1	1	24
	女2部	各支部の推薦されたチーム										未定
個人	男	36	13			13			14			76
	女	26	13			12			13			64

- 7 試合方法 (1) 団体試合は、男女1部、男子2部は8ブロックに分け予選リーグを行い、各ブロック1位校により決勝トーナメントを行う。女子2部は参加校数により試合方法を決定する。
また、男女1部については決勝トーナメントのベスト4による決勝リーグを行う。
(2) 登録選手によるオーダーの変更は試合ごとに認める。オーダー票の提出は、前の試合の次鋒戦終了までとする。ただし、第1試合のオーダー票は開会式開始前までに各試合場審判主任へ提出すること。なお、決勝トーナメントは試合終了後ただちに提出する。
(3) 登録選手が4名の場合、次鋒、中堅、副将、大将に配置、3名の場合は、中堅、副将、大将に配置すること。男女2部で2名の登録の場合、中堅、大将に配置すること。
(4) 個人試合は、男女ともトーナメント戦方式により行う。
(5) 試合時間は次のとおりとする。
ア 団体～予選リーグは、男女とも4分3本勝負とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。
なお、予選リーグ終了後、勝ち点(勝ち3点・引き分け1点・負け0点)・勝数・本数が同数の場合は代表者戦により勝敗を決する。代表者戦は4分1本勝負とするが、3校が同数の場合は3本勝負とする。なお、この代表者戦は1位を決めるためのものとする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取ったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は、4分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返す。
なお、2部は3分で行う。
イ 決勝トーナメントは、男女とも4分3本勝負とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。
勝数・本数が同数の場合は、代表者戦により勝敗を決する。代表者戦は4分1本勝負とし、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取ったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は、4分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返す。
ウ 決勝リーグについては予選リーグと同様とする。
ただし、決勝リーグは1位、2位を決める代表戦は必ず行う。3位の決定戦は同支部の場合行わない。(来年度のシード決めのため)
エ 個人～男女とも4分3本勝負とし、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取ったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は、4分とする。
延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返す。
付記:勝敗の決するまで延長戦を継続する場合、延長戦2回ごとに「休息」と「休憩」を交互に繰り返すが、主審は試合者の疲労度等を観察し、さらに休息等の措置が必要と判断したら、「止め」を宣告し深呼吸等の措置をとることができるものとする。
「休息」…立礼の位置まで下がらせて深呼吸させる。試合再開までは1分程度を目途とする。
「休憩」…選手を選手席に戻し、面を外させて給水させる。試合再開までは4分程度を目途とする。

審判員も一度審判員席に戻る。

(6) その他詳細については、監督会議において連絡する。

8 試合・審判 全日本剣道連盟試合・審判規則及び同細則、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための暫定的な試合・審判方法、並びに北海道高体連専門部申し合わせ事項による。

9 表彰 団体・個人男女ともに優勝、準優勝、第3位(2校)を表彰する。

10 北海道代表校 団体男女1部の優勝校、準優勝校を第33回全国高等学校剣道選抜大会の北海道代表校とする。
個人戦男女の優勝者は、全日本都道府県対抗剣道大会の代表選手とする。

11 参加料	団体	男子・女子1部	1チーム	15,000 円
		男子・女子2部	1チーム	7,800 円
	個人		1 名	2,000 円

12 申込方法 (1) 申込締切 令和5年 11月27日(月) まで(期日厳守)
(2) 高等学校単位に、インターネットで北海道高体連剣道専門部ホームページ(<http://www.kendo-hokkaido.hokkaido-c.ed.jp>)の「各校顧問用各種download」より申込みフォームをダウンロードし、必要事項を入力後、印刷し郵送およびメールでも申し込むこと。期限後の申し込み、参加料の納入のないものは受け付けない。申し込み後の取り消し及び欠場の場合も参加料の返金はしない。
(3) 申し込み先 「北海道高体連剣道専門部 竹之内康秀」 宛
〒004-0069 札幌市厚別区厚別町山本750番地15 北海道札幌厚別高等学校内

13 注意事項 (1) 選手は、黒または紺色布製地に白色で、学校名及び姓を明記した名札(垂)を装着すること。
(2) 男女とも竹刀の長さは、117cm(いわゆる3尺8寸)以内とする。
(3) 参加校は別紙にて学校名・氏名のオーダー用紙を「事務連絡」により作成し、大会当日学校名入封筒(角2)に入れ用意する。(回収はしない)
ア 用紙は、上質紙を使用し、縦26cm×横12cmで作成する。
イ 学校名は、高体連剣道専門部プログラム記載名の略称とする。
ウ 学校名・氏名の名称を、男子は黒色、女子は赤色で楷書とする。
(4) 竹刀の重さは、男子は480g以上、女子420g以上とする。
(5) 竹刀の先革先端部最小直径(対辺直径)は、男子26mm以上、女子25mm以上とする。
(6) 竹刀のちくとう部直径(竹刀先端部より8cmのちくとう対角最小直径)は、男子21mm以上、女子20mm以上とする。
(7) 面紐の長さは、結んだ状態で40cm以内にそろえる。
(8) 服装は男女とも、紺(黒)色または白色の剣道着・袴とする。
(9) 目印(タスキ)については、各出場校で用意する。
(10) 監督の服装は背広・ネクタイ、又は剣道着・袴とする。
(11) 主務が選手席に入る服装は、制服又は紺(黒)色または白色の剣道着・袴とする。
(ジャージ不可)

14 諸会議等日程 令和6年1月11日(木)
会場「千歳市開基記念総合武道館」千歳市あずさ1丁目3番1号
監督会議 13時00分～(会議室)
審判会議 14時00分～(会議室)

15 「大会参加選手変更願い(様式)」

参加校の選手を病気・ケガ・転校等で変更する場合は道専門部にメールで連絡すること。そののち、下記の様式にて監督会議前までに「大会参加選手変更願い」をA4用紙で提出すること。

※HPよりダウンロードすること

令和 年 月 日	
大会参加選手変更願い	
一般財団法人 北海道剣道連盟会長 様	
支 部 名 _____	
学 校 名 _____	
学 校 長 名 _____ 印	
このことについて、下記のとおり変更いたします。	
記	
1	抹消選手名 _____
2	登録選手名 _____
3	段位・学年 _____
4	生年月日 _____
5	理 由 _____

全道新人戦 男子・女子2部合同チームについての補足

合同チームを組む場合においては、以下のルールに沿って組むこととする。

- 1 同支部での合同チームとする。
 - ※支部の全滅を避けるために支部での単独でチームが組むことができない場合は、他支部(ブロック内に限定)との合同チームを認める
 - ※事前に専門委員長に必ず相談すること
- 2 1校1チームとする。
 - ・1つの学校が1部に1チーム、2部にも1チームは不可。
 - ・2部に丘珠A、丘珠Bの様に2チームは不可
 - ・1部、2部に登録できない生徒を他の学校と合同チームを組むことも不可とする。
 - ・1つの学校が2名、他の学校で1名しかいない場合、2名1名の合同チーム、1名しかいない学校が2校、3校での合同チームという形になる。

なお、男子の調整、女子の調整、推薦については各支部の専門委員がおこなう。

時間短縮のため男女2部の順位戦は行わなくても良いです。全道大会の女子の試合方法、抽選については出場チーム数等によって専門委員会決定する。